

第二次福山市環境基本計画（第2期計画）
（素案）に対する意見募集の結果について

福山市経済環境局環境部環境総務課

第二次福山市環境基本計画（第2期計画）（素案）に対する意見募集の実施概要

1 意見の募集期間

2023年（令和5年）12月15日（金）～2024年（令和6年）1月19日（金）

2 対象者

- (1) 市内に住所を有する方
- (2) 市内に事業所又は事務所を有する個人及び法人その他の団体
- (3) 市内に存する事務所又は事業所に勤務する方
- (4) 市内に存する学校に在学する方
- (5) その他、当計画策定に当たり、利害関係を有すると認められる方

3 周知方法

市のホームページ，報道機関への情報提供など

4 閲覧場所

- (1) 市ホームページ
- (2) 本庁舎 経済環境局環境部環境総務課（8階），市政情報室（3階）
- (3) 環境施設課，南部環境センター，西部環境センター，北部環境センター，東部環境センター，福山市リサイクルプラザ

5 意見募集結果

(1) 提出数 2件（個人1件，団体1件）

<内訳>・書 面： 1件

・電子メール： 1件

・ファックス： 0件

(2) 意見件数 4件

<内訳>・計画に反映したもの： 2件

・市の考え方を説明するもの： 2件

・その他（環境基本計画に関係のない意見）： 0件

※提出されたものに複数の内容がある場合，それぞれ1件として整理

○第二次福山市環境基本計画（第2期計画）（素案）に対する市民意見の要旨と市の考え方

(1) 計画に反映したもの (2件)

番号	該当箇所	意見の要旨	市の考え方
1	32ページ 第3章 施策の展開 第2節 基本施策 基本目標4 自然共生社会の構築 1 生物多様性の保全	ブラックバスの標準和名は「オオクチバス」であり、正式名称を用いたほうが良いのではないかと。	「オオクチバス（通称：ブラックバス）」に表記を修正しました。
2	37ページ 第3章 施策の展開 第2節 基本施策 基本目標5 持続可能な社会を担う人づくり 1 環境学習・環境教育， 環境啓発の推進	「脱炭素・循環型社会・自然共生の構築に向けた体験型の講座を実施します。」とあるが、基本目標の名称に合わせて「脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会」としてはどうか。	「脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会」に表記を修正しました。

(2) 市の考え方を説明するもの (2件)

番号	該当箇所	意見の要旨	市の考え方
1	16 ページ 第3章 施策の展開 第2節 基本施策 基本目標1 脱炭素社会の構築 (気候変動対策) 1 温室効果ガスの排出抑制	福山市内では、これまで剪定枝葉や除草刈草等、毎年発生する植物系バイオマス資源が焼却処分されており、これら未利用資源のエネルギー活用による温室効果ガスの排出抑制が喫緊の課題と考える。市・広島県外でも活発に推進されている、これら剪定枝葉や除草刈草等もバイオマスエネルギーの資源として追記し、重点プロジェクト4にて推進すべきと考える。	剪定枝葉や除草刈草等についても、「バイオマスエネルギー」として利用を促進することとしています。 なお、2024年(令和6年)8月から稼働する「ふくやま環境美化センター」にて受入れた剪定枝葉等は、ごみ発電のためのバイオマスエネルギー資源として活用する予定です。
2	46 ページ 第3章 施策の展開 第3節 重点プロジェクト 重点プロジェクト4 自然と共生する豊かな社会 実現プロジェクト 2 事業の内容	重点プロジェクト4のスケジュールが2024年～2028年の5か年とされているので、この期間内では方向性について検討のみにとどめず、“方向性について検討を行った上で市内民間事業者との連携による具体的な取組みを進めます。”と記載すべきと考える。	バイオマス事業を実施するに当たっては、適正な技術の選択や原料の調達、販路の確保などの検討が必要となります。検討に期間を要する場合もあるため、「方向性の検討」のみの表記としていますが、実現可能性の有るものは具体を進めていくことにしています。

(3) その他(第二次福山市環境基本計画〔第2期計画〕)に関係のない意見(0件)

(意見の件数 4件)